## 第六十二号議案

東京都漁港管理条例の一部を改正する条例

右の議案を提出する

令和五年二月十五口

者 東京都知事 小 池 百 合

子

提

出

東京都漁港管理条例の一部を改正する条例

東 京 都 漁 港 管 理 条 例 昭 和 几 十二年東 京都 条例 第 四十七号) 0) 部 を

九 条第一 項 中 | 又は 除 去 を 「若しくは 除 去 に 改 め、 同 条第三項 中 月  $\widehat{\mathbb{I}}$ 作 物 等 0) 設 置 を 目 的 とする占 用 13 あ 7

次

0

よう

É

改

正

す

る。

は一年)をこえる」を「十年を超える」に改める。

第 十一条第四項ただし 書 中 「または」 を「又は」 に 改 め、 同 項 を 同 条第 <u>.</u> 項と 同 条第三 項 中 「または」 を 又 は

め、 同 項 を 同 条第 几 項と し、 同 条第二項 0) 次に 次 0) 項を 加 える。

3 前 項 本 文の規定に か か わ らず、 第九条第 項 0) 規定による占用 の期 間 が <u>코</u>코 年 度以降に わたる場合に お ĺλ 7 は、 翌 年

- 度以

降

に

改

0) 年 度 分に係る占 用 料 は、 毎 年 度、 当 該 年 度 分を 知事 が 指定する期  $\exists$ までに 納 付するもの とする。

第 十二条 第二 項 中 第 几 項 を 「 第 五. 項 に改 め、 同 項 E 後段として 次の いように 加 える。

0) 場 合に お 1 て、 同 条第二 項 中 利 用 料 · 等 \_ とあ る 0) は 土 一砂採取 料等」 と、 同 条第三 項 中 第 九 条 第一 項 0 規 定に ょ

る 占用 とあ る 0) は 法 第三十 九 条第 項 0) 規 定による採取 又は占用」 と、 占 用 料 と あ る 0 は 土 砂 採 取 料 同

条第 用 者等」 兀 項 لح 中 あ 利 る 用 0) は 料 等 採 とあ 取者等」 る 0) と読 は 土 み替えるも 砂 採 取 料 等 のとする。 と、 同 条第五 項 中 利 用 料 等 とある 0) は 土 砂 採 取 料 等

利

第 十二条の二 第 兀 項 中 か さら第 兀 項 くまで」 を 第四項 及び 第 <u>Ŧ</u>. 項 に、 第三 項」 を 第 兀 項 に、 同 条 第 几 項 を

「同条第五項」に改める。

第六 十 二号議案 東京都漁港管理条例の一部を改正する条例

第 + 五 条の四 第三項 中 第十一条」 を 第 + 条第 項、 第二 項 第四 項 及び第五項の規定」 に、 「から第四 「項ま で 0) 規

定」を「、第四項及び第五項」に改める。

別表第一 一の項中

		_
	物揚場	岸壁
	に総トン数一トンにつき	係留二十四時間までごと
		二円十銭
を		

を

給 場 水 施 設 給水量 係留二 でごとに に総トン数 + 立 兀 一方メ 時 } 間 までごと ] ンにつき } ル ま 八百二十八円 二円 + 銭 に改め、

船

舶

岸

壁

物

揚

め、同項備考に次のように加える。

 $\equiv$ 船 舶 給 水施設を次に 掲 げ る日 又は 時 間 K 利 用 す る 場 合 0) 利 用料 13 0 (V ては、 Ŧī. 割増しとする。

ア日曜日

イ 玉 民 0) 祝 日に関 する法律 昭 和二十三年法律第百七十八号)に規定する休日

ウ 一月二日及び同月三日

エ 十二月二十九日から同月三十一日まで

オ T から工までに掲げる 日以外の 日の午 前零時から午前八時三十分まで及び午後五時 から翌日 0) 午前 零時まで

附則

ح 0) 条例 は、 令 和 五年 七月一 日から施行する。 ただし、 第九条、 第十一条、 第十二条、 第十二条の二及び第十五条の 几 0) 改

正規定は、公布の日から施行する。